

オーディオ実験室収載

東京春祭を楽しむ(43) —ライブ配信(43)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2025No.51】で紹介した東京春祭 25 のプログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、ベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》の演奏の配信を試聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は PC から Sonica DAC への送り出しですが、昨年から下記の変更がなされています。

Crystal Ep-G の導入

Crystal E Jtune に Crystal E 連結

さらに、ルーター→スイッチングハブ→PC の LAN2 接続ヶ所に OPT ISO BOX を介在させ、OPT ISO BOX の電源に Petit Susie Solid State を適用しています。

プログラムは次のとおりです。

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol. 12

ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》

日時・会場

2025 年 4 月 6 日 [日] 15:00 開演 (14:00 開場)

東京文化会館 大ホール

出演

指揮：マレク・ヤノフスキ

ソプラノ：アドリアナ・ゴンサレス

メゾ・ソプラノ：ターニャ・アリアーネ・バウムガルトナー

テノール：ステュアート・スケルトン

バス：タレク・ナズミ

管弦楽：NHK 交響楽団

合唱：東京オペラシンガーズ

合唱指揮：エベルハルト・フリードリヒ、西口彰浩

曲目

ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス（莊厳ミサ曲） ニ長調 op.123



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

《ミサ・ソレムニス》は、カラヤン指揮ベルリンフィルのアナログ盤を保有していますが、合唱も含め編成が大きく再生の難しい曲です。

合唱陣は4列、4人のソリストは合唱陣の前、オーケストラはコントラバスだけで8台あり、ステージ一杯に陣取っています。このような曲が、リアルタイムのライブ配信でどのように再生できるかに興味がありました。

ソリストの歌唱はよくとおり、合唱の濁りもさほど感じられず、多くのコントラバスに支えられたオーケストラは、厚みがあり、文字通り、莊厳な表情を表現した演奏です。





4.まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、大編成の演奏の迫力やソリストの明晰な歌唱や合唱の獨りもさほど感じられず、ライブ感が向上し、スピーカーアキュライザーへの Crystal Ep-G の導入や PC の仮想アース Crystal E Jtune への Crystal E 連結および LAN 接続に OPT ISO BOX を介在させたことや OPT ISO BOX の電源に Petit Susie Solid State に適用したことなどの対策が功を奏していることが分りました。

以上